

平成 23 年度日本コンクリート工学会第 1 回拡大幹事会 議事録

日 時：平成 23 年 12 月 26 日

場 所：四国中央市市民会館三島会館

出席者：氏家支部長，橋本幹事，古田幹事，吉田幹事，大内常任委員，森本常任委員，横井常任委員，岡崎（四国支部事務局）

配付資料

- 1-1 平成 23 年度日本コンクリート工学会第 1 回拡大幹事会議事次第
- 1-2 平成 22 年度 JCI 四国支部題 3 回拡大幹事会議事録(案)
- 1-3 平成 23 年度第 1 回支部長会議議事録(案)および関連資料
- 1-4 定例理事会関連資料
- 1-5 JCI 四国支部 平成 23 年度活動状況および今後の予定
- 1-6 JSCE341 委員会報告書および講習会に関する資料
- 1-7 四国のコンクリート需要の将来予測に関する研究委員会 2011 年度活動報告
- 1-8 JCI 四国支部フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会平成 23 年度中間活動報告
- 1-9 JCI 四国支部コンクリートの強度におよぼす養生条件に関する研究委員会の進捗状況
- 1-10 コンクリート工学年次大会 2004(高知)実行委員会委員一覧とサンポート高松使用料金
- 1-11 コンクリートサステナビリティ宣言関連資料

審議事項

1. 支部長挨拶

氏家支部長より，拡大幹事会開催にあたって挨拶が行われた。

2. 平成 22 年度第 3 回拡大幹事会議事録確認

資料 1-2 に基づき，平成 22 年度第 3 回拡大幹事会議事録の説明が氏家支部長よりなされ，議事録案の承認がなされた。

3. 支部長会議報告

平成 23 年度第 1 回支部長会議の説明が氏家支部長より資料 1-3 に基づき説明がなされた。・公益目的比率が 50%以上にすることは，必須事項ではないが努力目標とすべきである，・現状のコンクリートマイスター制度は会員限定となっているが，この場合公益事業ではなく共益事業と見なされる恐れがあるため，表彰を会員に限定しない方向で調整中，・支部開催の講習会書籍は返本可能である，・支部長規定の改定と，新支部長の承認は 5 月の理事会で行われること，理事会の 1 週間まえまでに支部総会を開催し，新支部長を選任しておくこと，・支部会計において繰越金が交付金を超えないようにすること，など報告がおこなわれた。

4. 理事会報告

定例理事会の説明が，氏家支部長より資料 1-5 に基づいて行われた。また，コンクリートサステナビ

リティ宣言について、資料の回覧とともに説明がなされた。

5. 四国支部選出の理事について

橋本幹事に理事就任の了承を得た。

6. 平成23年度活動状況および今後の予定

資料1-6に基づき、平成23年度の活動においては、土木学会コンクリート委員会341小委員会講習会、高知仁ノ海岸離岸堤工事など見学会（平成23年11月29日）中止、ダム工学会中四国地域現場見学会・講演会（J C I 四国支部後援行事）実施の報告、今年度3月においては、環境配慮型コンクリート構造物設置後の機能変化に関する調査研究委員会(委員長：徳島大学上月先生)講習会、生コンセミナーin 徳島の開催について氏家支部長から説明があった。

7. 平成23年度研究委員会報告および活動計画

資料1-7に基づき、四国のコンクリート需要の将来予測に関する研究委員会(委員長：大内雅博（高知工科大学）)の活動報告と委員会活動の終了の報告、1-8、1-9に基づき、フライアッシュコンクリートの耐久性評価研究委員会(委員長：上田隆雄（徳島大学）)、コンクリートの強度に及ぼす養生条件に関する研究委員会(委員長：水越睦視（香川高等専門学校）)の中間報告が氏家支部長より説明がなされた。

8. 平成23年度コンクリート診断士・技士試験について

資料1-5に基づき、平成23年度コンクリート診断士、技士試験についての実施状況について報告が氏家支部長よりなされた。

9. その他

資料1-10に基づき、2014年年次大会(高松)における会場候補地に関する議論がなされた。サンポート高松、香川国際会議場、e-とぴあ・かがわ、およびアルファあなぶきホール、の近接した4会場使用での開催がよいのではないかとの認識を共有した。

以上